



ミッションクリティカルな領域にもLinuxを安価に 安心して活用できるOracle Unbreakable Linux

- Linuxは、ソースコードが公開され、ライセンス料が無償のオープンソースソフトウェア（以下、OSS）。オラクルは、急成長を続けるLinuxのミッションクリティカル分野への採用を目指し、Linuxのフルサポートサービス「Oracle Unbreakable Linux」を開始。
- これによりオラクルはOS、ミドルウェア製品、業務アプリケーション製品をトータルで提供できる唯一のベンダーとなる。

はじめに

Linuxはネットワーク機器、情報家電などの組み込み用途から企業の基幹システムを支えるITインフラまで幅広い分野で活用されている。最近の国内統計ではサーバ用途のLinux OS（有償）は、二桁で市場が成長すると予測されている。Linuxのデータベース市場も同様の傾向を示しており、オラクル製品をLinuxで利用されるケースが急増している。最近では、ごく普通に企業の基幹システムでLinuxを採用し、業務アプリケーションを構築・運用している。Linuxはオープンソースのコミュニティで開発していくソフトウェアで、

ソースコードは公開されている。オラクルはLinuxの開発に長く貢献していたが、2006年10月に「Oracle Unbreakable Linux」というサービス名称で、Linux OSのサポートビジネスに参入することを表明した。

オラクルのLinuxへの取組み

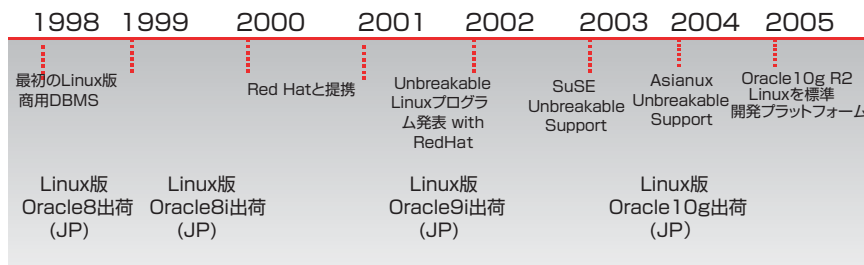
オラクルでは、1998年からLinuxに取り組み始め、Linuxの開発にも積極的に参加している。世界中のオラクルの開発者がコミュニティを通して、カーネルを中心としたLinuxの開発に参画。その成果が、Oracle Cluster File System（以下、OCFS）として、GNU General Public License（GPL）に基づいてリリース



日本オラクル(株)
システム製品統括本部
Unbreakable Linux
ビジネス推進部
部長
林 徹氏

されている。

「LinuxのKernel 2.6.21では、世界各地に在籍しているオラクル社員が、106件の問題を解決しました。オラクルは、Linux開発チームとLinuxサポートチームを一つの組織で構成し、Linuxの難しい問題が発生した場合でも迅速に解決する体制を世界レベルで構築してサービスを提供しています。」（日本オラクル(株) システム製品統括本部 Unbreakable Linuxビジネス推進部 部長 林 徹氏）



2006/10 Unbreakable Linux 発表

図1 オラクルのLinuxへの取組み

Linux対応データベースにおいて No.1の地位を確立

オラクルは、1998年に最初のLinux版商用データベースOracle 8をリリース。2000年にはRed Hat社と提携、Linux版Oracle 9i出荷と合わせて、最初のUnbreakable

Linuxプログラムを発表。オラクルは、データベース製品に加えてLinuxの一次サポートを顧客に無償で提供してきた。その後Linux対応のデータベースでは、トップベンダーをキープしている。そして、2004年Linux版Oracle 10gを出荷、Oracle 10g R2では、Linuxを標準の開発プラットフォームに採用している(図1参照)。

Oracle Unbreakable Linuxとは

日本オラクルは「Oracle Unbreakable Linux」のサポートサービスを2007年9月から開始した。

日本ではパートナー各社と協力して、2つのビジネスモデルでサービスを提供する。1つ目のビジネスモデル(1st Line Support Model)は、サポートサービス「Oracle Unbreakable Linux」を、パートナー企業各社から顧客に販売およびサポートするモデル。2つ目のビジネスモデル(Value Add Model)は、パートナー企業各社が、従来から提供しているRed Hat

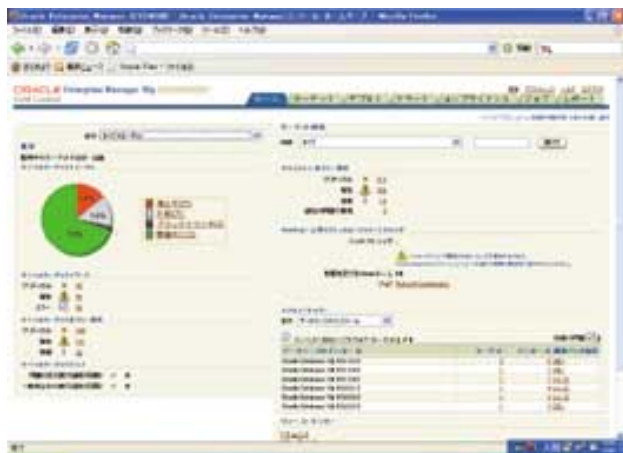


図3 Oracle Management Pack for Linux

を対象としたLinuxサポートサービスに「Oracle Unbreakable Linux」サポートサービスを付加して提供するモデル。

日本オラクルおよび1st Line

Support Modelのパートナー各社からサービス提供する場合のサポートメニューと価格を図2に示す。OSのアップデートサポートをネットワーク経由で行う「Enterprise Linux Network Support」と、OSのアップデートサポートに加え、24時間365日のWeb、電話での問合せサポートを提供する「Enterprise Linux Basic Support」、Basicに加えてバックポート修正の提供、オラクル製品と同等のサポートライフタイムを提供する「Enterprise Linux Premier Support」などを用意する。

オラクルがサービスを提供することにより、①Linuxとオラクル製品をワンストップでサポート、②問題修正のバックポートの提供、③知的所有権に対する保証の提供などのメリットがある。

統合管理ツールも提供

企業のITインフラには数百台から一千台を超えるサーバが利用されている。

	2CPUまで	CPU無制限	コメント
Enterprise Linux Network Support	¥12,400	¥12,400	ソフトウェア・アップデートサポートなどをUnbreakable Linux Networkより提供
Enterprise Linux Basic Support	¥49,900	¥124,900	Unbreakable Linux Networkの使用に加え、24時間365日での問い合わせが可能
Enterprise Linux Premier Support	¥149,900	¥249,900	上記に加え、バックポート修正の提供、Oracle製品と同等のサポート・ライフタイムを提供

図2 Unbreakable Linuxのサービスと価格

Oracle Enterprise Managerは、このような環境で業務アプリケーション、Oracle Database、Linux OSを統合管理する。この中にはOS管理機能「Oracle Management Pack for Linux」(図3参照)があり、プロビジョニング、パッチ管理、状態監視、構成管理が可能だ。

開発、サポート一体となった推進体制により、スピーディなサービスを提供

日本オラクルでは、2007年1月から、Unbreakable Linuxビジネス推進部を新たに設置した。

「Oracle Unbreakable Linuxビジネス推進部では、OSに関する重要かつ解決までにスピードが要求されるお客様の障害のケースであっても、早急に解決できる体制を目指し、開発者とサポートが一体となったワンチーム体制の組織で取り組んでいます。さらに日本ではお客様の多様なご要望にお応えするためにパートナー各社と様々なサービス体系と体制を構築して提供していきます。」(前出 林 徹氏)

●お問い合わせ先●

Oracle Direct
TEL : 0120-155-096
URL : <http://www.oracle.co.jp/direct/>